

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第44週の発生動向

全数報告の感染症 (44週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 1例。3~5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	高鍋	80歳代	女	肺結核	発熱

定点把握の対象となる5類感染症

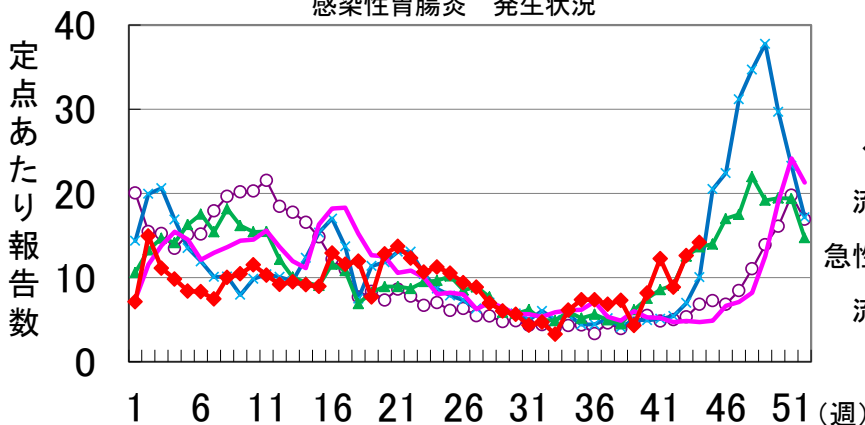
・定点医療機関からの報告総数は779人(定点当たり26.8)で、前週比101%とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と流行性耳下腺炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

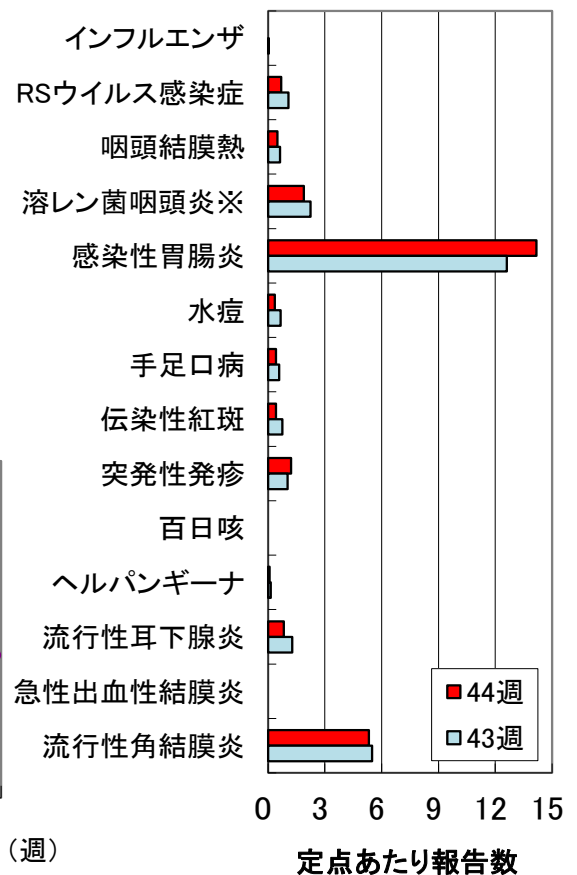
【感染性胃腸炎】

・報告数は510人(14.2)で、前週比112%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(8.9)の約1.6倍であった。小林(41.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約半数を占めた。

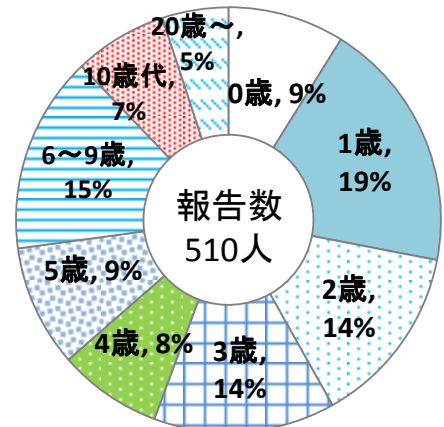
*過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値。
感染性胃腸炎 発生状況



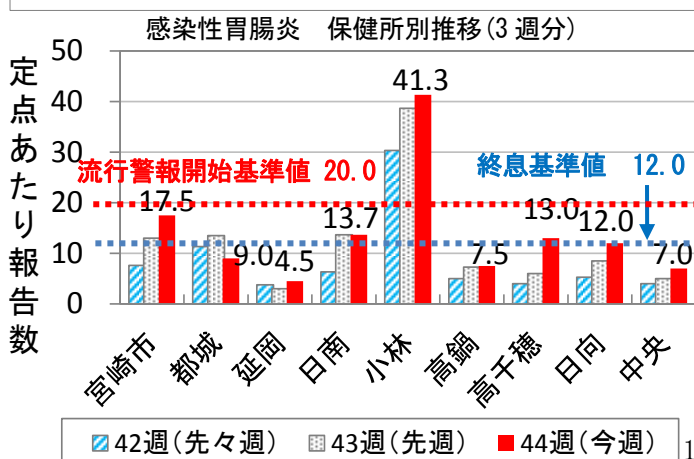
《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
感染性胃腸炎 年齢別割合(44週)



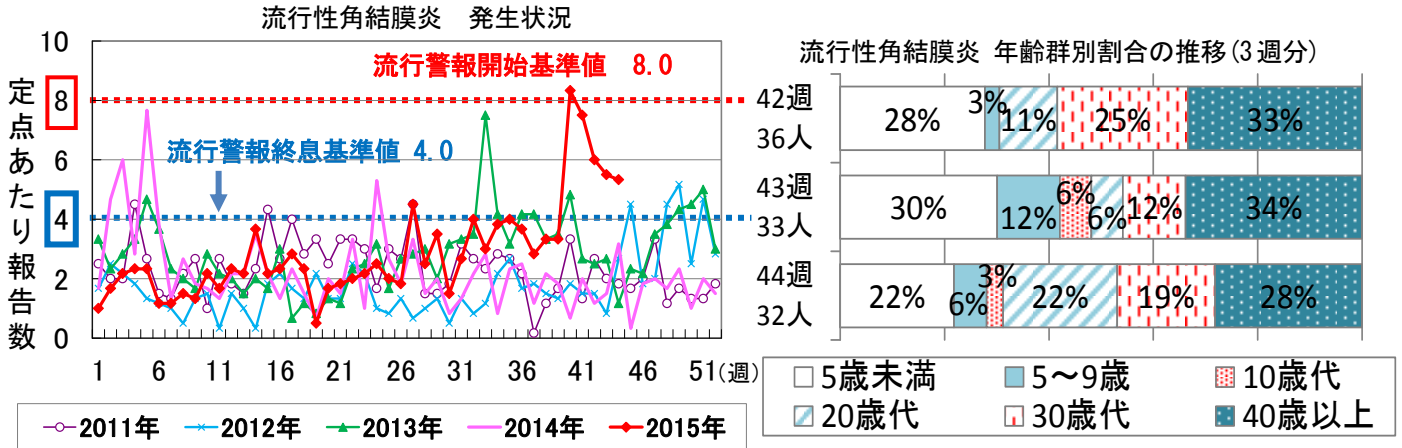
2011年 2012年 2013年 2014年 2015年



★眼科定点からの報告★

【流行性角結膜炎】

・報告数は32人(5.3)で、前週比97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値*(2.2)の約2.5倍であった。



★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：都城保健所から1例報告があった。

0歳で、鼻腔粘液からRSウイルスが検出された。

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から4例、高鍋保健所から1例報告があった。

1~4歳が1例、5~9歳が4例で、いずれも咽頭ぬぐい液から *Mycoplasma pneumoniae* が検出された。

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患	※流行警報レベル開始基準値※
小林	感染性胃腸炎(41.3)、流行性耳下腺炎(3.7)	・感染性胃腸炎(20.0)
宮崎市、都城、延岡、日南、高鍋、高千穂、日向、中央	なし	※流行注意報レベル基準値※ ・流行性耳下腺炎(3.0)

□ 病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成27年11月2日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EAggEC(O111:H21)	0~4歳	女	2015.10.5	発熱、下痢	便	2015.10.22
EPEC(O125:H21)	40歳代	女	2015.10.6	—	便	2015.10.29
EHEC(O103:H2 VT1)	0~4歳	女	2015.10.13	下痢、血便	便	2015.10.30
EHEC(O103:H2 VT1)	30歳代	男	2015.10.20	無症状	便	2015.10.30
EHEC(O103:H2 VT1)	30歳代	女	2015.10.20	無症状	便	2015.10.30
EHEC(O103:H2 VT1)	5~9歳	女	2015.10.20	無症状	便	2015.10.30

下痢、血便などを呈した0~4歳の女兒、またその家族から腸管出血性大腸菌O103が分離された。腸管出血性大腸菌O103は、本県では2006年、2013年、2015年と保育園での集団感染事例が発生している。感染者の多くは無症状病原体保有者であることが多いが、乳児や小児では重症化する恐れもあるため、今後の発生動向に注意していく必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	材料	検出日
単純ヘルペスウイルス1型	5～9歳	男	2015.08.27	ヘルペス歯肉口内炎、38.5℃ リンパ節腫脹	咽頭ぬぐい液	2015.10.29
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	男	2015.09.22	不明の発疹症、40℃、紅斑、丘疹	咽頭ぬぐい液	2015.10.29
エンテロウイルスD68型	30歳代	女	2015.9.24	肺炎、呼吸不全、38.5℃、 下気道炎、胸水	鼻汁	2015.10.12
エンテロウイルスD68型	5～9歳	女	2015.10.08	急性肺炎、38.5℃、気管支炎 咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2015.10.29
ライノウイルス	0～4歳	男	2015.10.07	喘息様気管支炎、37.2℃、気管支炎 咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2015.10.21
ライノウイルス	0～4歳	女	2015.10.07	喘息様気管支炎、37.8℃、鼻水	咽頭ぬぐい液	2015.10.21
ライノウイルス	5～9歳	女	2015.10.16	肺炎、39℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.10.21

○肺炎や気管支炎などの呼吸器症状を有する小児3名からライノウイルスが検出された。当所では、9月に1件、10月に5件検出している。ライノウイルス感染症は、一年中みられるが、特に晩春と初秋に多くみられる。

○肺炎の小児1名及び成人1名からエンテロウイルスD68型（EV-D68）が検出された。EV-D68は、全国的に報告件数が増加しており、本県でも9月に4件、10月に3件検出している。

ライノウイルスとEV-D68は生物学的性状が類似しており、どちらも呼吸器症状を伴う。今後の呼吸器症状を有する患者の発生動向に注視する必要がある。

🌈 全国第43週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第43週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	367例				
3類感染症	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	36例	腸チフス	2例
4類感染症	E型肝炎	4例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	つつが虫病	4例	デング熱	6例	日本紅斑熱	9例
	ボツリヌス症	1例	マラリア	1例	レジオネラ症	14例
	レプトスピラ症	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	10例	ウイルス性肝炎	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29例
	急性脳炎	7例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	17例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	21例	水痘（入院例）	2例	梅毒	43例
	破傷風	3例	風しん	1例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比118%と増加した。前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

R Sウイルス感染症の報告数は4,118人(1.3)で前週比107%とやや増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.84)の約1.6倍であった。山形県(6.0)、福島県(4.1)、徳島県(3.0)からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は6,914人(2.2)で前週比128%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約1.8倍であった。静岡県(5.3)、鳥取県(4.6)、山形県(4.2)からの報告が多く、年齢別では4～7歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第44週(10月26日～11月1日)

疾病名		第43週	第44週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	39	25	5	8	3	1		6		2	
	定点あたり	1.08	0.69	0.50	1.33	0.75	0.33	0.00	1.50	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	23	18	4	5		2		2		5	
	定点あたり	0.64	0.50	0.40	0.83	0.00	0.67	0.00	0.50	0.00	1.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	81	68	12	6	8	10	2	3	1	24	2
	定点あたり	2.25	1.89	1.20	1.00	2.00	3.33	0.67	0.75	1.00	6.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	454	510	175	54	18	41	124	30	13	48	7
	定点あたり	12.61	14.17	17.50	9.00	4.50	13.67	41.33	7.50	13.00	12.00	7.00
水痘	報告数	24	13	5		2					6	
	定点あたり	0.67	0.36	0.50	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
手足口病	報告数	21	15		1	1			2		8	3
	定点あたり	0.58	0.42	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	2.00	3.00
伝染性紅斑	報告数	27	15	7	4	3		1				
	定点あたり	0.75	0.42	0.70	0.67	0.75	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	37	44	19	3	5	3	3	6		2	3
	定点あたり	1.03	1.22	1.90	0.50	1.25	1.00	1.00	1.50	0.00	0.50	3.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	3			2	1					
	定点あたり	0.14	0.08	0.00	0.00	0.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	46	30	2	4	6		11	2		4	1
	定点あたり	1.28	0.83	0.20	0.67	1.50	0.00	3.67	0.50	0.00	1.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	33	32	14	15	3						
	定点あたり	5.50	5.33	4.67	7.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		5	4					1			
	定点あたり	0.00	0.71	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～44週)

2類感染症	結核	175例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	105例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	7例
	つが虫病	3例	デング熱	1例	日本紅斑熱	9例
	マラリア	1例	レジオネラ症	4例	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	4例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	15例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	8例				

()内は今週届出分、再掲